

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要			
事業開始年度	平成17年3月22日から		
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	09 その他事務管理(議会)
	事務事業名	01	市議会運営事務
	根拠法令・例規等	地方自治法、備前市議会会議規則 備前市議会委員会条例	
	担当課(室)	議会事務局	
	職・氏名	議事係長 桑原淳司	
	電話	0869-64-1803	
	このシート作成に要した時間	1.5 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市議会議員・市内の有権者
目的(何のために)	円滑な議会運営を行うとともに市民の議会に対する関心と理解を深めていくことを目的とする
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	議会及び議員の活動を市民に知ってもらい、理解と関心を深めてもらうとともに市民に分かりやすい議会運営に努め、本会議などの傍聴者や議会議中継の視聴者を増加させる。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	本会議運営事務	本会議の円滑な運営に資するために必要な調整協議を行う 本会議に関する事務(次のとおり)を行う 議事日程の作成・管理事務 議長次第書作成事務 発言通告受理事務 議会議中継事務(中継作業、マイク操作など) 録音、録画事務 審議結果通知事務 傍聴人への対応事務 報道関係者への対応事務 議案審査に係る資料作成事務 その他本会議に関連する全ての事務	
	委員会運営事務	常任委員会、議会運営委員会の運営に関する事務局事務を行う 議事日程(レジユメ)の作成・管理事務 録音事務 傍聴人・報道関係者への対応事務 委員会審査に係る資料作成事務 委員会視察補助事務 その他委員会の会議に関連する全ての事務	
	その他会議運営事務	本会議・委員会以外の会議(全員協議会など)の運営に関する事務局事務を行う 詳細は委員会運営事務に準ずる	
	東備消防組合議会会議運営事務	備前市と和気町で組織する一部事務組合の議会運営に関する事務局事務を行う 詳細は、備前市議会本会議事務と同じ	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		53	52	48
	必要人員(人件費)	千円	1.38人 10,970	1.27人 10,077	1.38人 11,184
	事業費		11,023	10,129	11,232
	国県支出金				
財源	受益者負担				
	繰入金	千円			
	その他( )				
一般財源		11,023	10,129	11,232	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	本会議時間数	説明	定例会・臨時会の本会議時間数		
	結果指標量	時間	59	69	66
	対前年比	%	-	116.9%	95.7%
	活動コスト	円	5,114,000	4,327,000	3,709,000
単位当たりコスト		86,678	62,710	56,197	

(平成22年度事業)

事業の成果		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
本会議・委員会傍聴者数及び議会議中継視聴者数	成果指標名	目標値(A)	20,000	20,000	15,000	10,000
		実績値(B)	9,317	8,246	8,642	到達目標値
		達成率(B/A)	46.59%	41.23%	57.61%	10,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
議会に対する関心度を測る 傍聴者(本会議・委員会)+インターネットアクセス数(生中継・録画中継)						

Check

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E> <b>B</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> <b>B</b>
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A~E> <b>B</b>
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	6月定例会の審議結果から議会だよりにて議員個々の賛否を公開する。また、会派制での議会運営を定着させ、議会運営の効率化と活性化を図る。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
法令で義務付けられている事務であり、妥当性については異論のないところではあるが、会議規則、委員会条例などに則り円滑で、効率的、効果的な議会運営が行われなければならない。また、議会及び議員の役割と活動を市民に理解してもらうために、議員による積極的な情報提供や議会報告会の実施などを行う必要があると考える。	評価区分 <A~E>	<b>B</b>	妥当性 効率性 有効性 意図性

Action

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	議会及び議員の役割と活動を市民に理解してもらうため、「開かれた市議会」を推進する。正副議長選挙の立候補制を導入する。					